

# 漁況予報 いわし

## 第 1 4 9 号

2008年 9～10月漁期  
(2008年9月10日発行)

### ＝ 概況 ＝

#### 【まいわし】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、7月が175トン、8月が526トン（速報値）で、好漁であった前年同期（7月：289トン、8月：215トン）を上回りました。特に8月の漁獲量は、ひと月の漁獲量としては1996年9月以来の500トン超えとなりました。

漁獲物は、体長11～15cmの小・中羽（2008年級・0歳魚）がほとんどで、1歳以上の大型個体の漁獲はほとんどありませんでした。

佐島地区のまき網は、7月、8月ともに大部分を鮮魚として出荷し、徐々にまとまった漁となりましたが、まだ、1990年代後半の全盛期の水準には遠く及びません。

これまでの漁況経過から、今後もしばらくは0歳魚主体の漁獲は続くものと思われます。好漁の要因は、春季にマシラス（マイワシの仔魚）が相模湾に多く来遊したため、それが湾内で成長し漁獲されています。しかし、2008年の太平洋系群の産卵量は前年を下回っており、他の調査結果からも加入水準は低いと推定されています。このことから、マイワシ資源の本格的な回復はまだ先となるでしょう。

#### 【かたくちいわし】

主要定置網におけるカタクチイワシ総漁獲量は、7月が405トン、8月が49トン（速報値）で、前年同期（7月：235トン、8月：380トン）を下回り、過去5年平均の半分程度にとどまりました。例年は9月頃から徐々に漁獲量が少なくなりますが、今年は8月に入り早くも低調な漁模様となっています。

佐島地区のまき網は、7月には鮮魚主体、8月には餌イワシ主体に漁獲しました。7月までは好漁でしたが、8月に入り漁獲量は減少しました。

魚体は、7月には体長12cm前後の成魚が主体でしたが、8月には小型化し9cm前後の未成魚・小型成魚が主体となりました。

#### 【しらす】

7月の漁獲量は好漁であった前年並みで、特に江の島以西の海域では数回の網入れで漁を終えるほどの好漁となりました。しかし、お盆前には湾全域で漁獲量が急減し、8月末までほとんど漁がない状況となりました。

今年は、3月、4月の春漁が好漁でしたが、これは、愛知、静岡、神奈川の海域に限られ、全国的にはやや低調な漁模様で推移しました。7月、8月の近県も含めた卵産量は少ないことから、相模湾の漁模様が大きく好転する要素は少ない状況です。

### ＝ 予報 ＝

#### まいわし

今漁期は、今年生まれの中羽マイワシが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、3～6月のシラス漁におけるマシラス（マイワシの仔魚）の漁獲量から、約1,000トンと予測されます。

\* 縦軸：主要定置網＋まき網

#### かたくちいわし

今漁期は、未成魚が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、7～8月の県内主要定置網における漁獲量から、約74トンと予測されます。

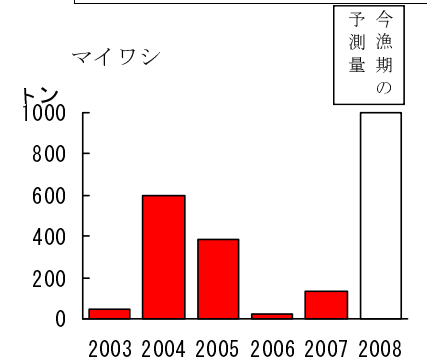
\* 縦軸：主要定置網＋まき網

#### しらす

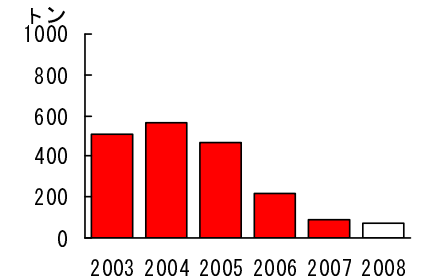
今漁期は、7～8月に相模湾内で生まれたカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、当センターが実施した7、8月のカタクチイワシの卵分布調査結果から、約72トンと予測されます。

過去5年の9・10月漁期の漁獲量と今漁期の予測量



カタクチイワシ



シラス

